

# 港中だより

伊勢市立港中学校 No.17

R2. 10. 15

校長 金森 晃生

## 修学旅行に行きました



10月7日と8日に修学旅行に行きました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の計画から、日程、行き先など大きく変更になりました。ディズニーに行くことはできませんでしたが、生徒のみなさんは感染症予防対策などを行いながら、一人ひとりが心に残る思い出を作ってくれたことだと思います。私は2日間でしたが、楽しい修学旅行になりました。

修学旅行初日、出発式に始まり、一路和歌山県に向かってバスに乗り込みました。バスでは感染症対策により、できるだけ1時間おきに休憩を取り、換気を行いました。また、カラオケなどはできず、乗車中もマスクの着用、大きな声ではしゃべらないなど、バスでの楽しみが制限されました。その中で隣の



人とおしゃべりをするなど、バスでの楽しい思い出も作ってくれました。途中、橋杭岩を車窓から見学し、潮岬に到着しました。途中から雨が降り出し、降ったりやんだりの天候で、昼食



については残念ながら車中で食べることになりました。しかし、到着後も予定を2度、3度変更しましたが、生徒のみなさんが臨機応変に対応してくれたおかげで、雨の合間をぬって、集合写真を撮ることが

できたり、展望タワーから本州最南端の景色を見ることができたり、お土産を買ったりすることができました。



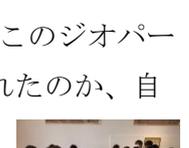
昼食後「南紀熊野ジオパークセンター」に行きました。南紀熊野地域はプレートの沈み込みに伴って生み出された、異なる3つの地質体によってできる独特の景観（橋杭岩・円月島・千畳敷・三段壁など）を見ることが



ことができます。また、川や滝などもあり、自然の恩恵を受けていますが、その一方、水害や土砂崩れなど自然災害への備えも必要な地域です。そこで、このジオパークセンターでは、紀伊半島の台地がどのような活動によって生まれたのか、自然が織りなす素晴らしさ、地域独特の文化、また自然災害に対することなどを、プロジェクションマッピングや体験装置などを使い、学習する施設です。大迫力の映像や研究員の方々の解説、体験を通し、楽しくしっかり学習してくれたことと思います。



水害や土砂崩れなど自然災害への備えも必要な地域です。そこで、このジオパークセンターでは、紀伊半島の台地がどのような活動によって生まれたのか、自然が織りなす素晴らしさ、地域独特の文化、また自然災害に対することなどを、プロジェクションマッピングや体験装置などを使い、学習する施設です。大迫力の映像や研究員の方々の解説、体験を通し、楽しくしっかり学習してくれたことと思います。



潮岬を後にし、串本海中公園に向かいました。雨も少し強く降り、海中展望塔に入れるかどうか心配しました。台風前で海が少し荒れていましたが、海中展望塔に入り海中の魚を見ることができました。





また、海中公園ではウミガメの飼育もおこなわれており、体長 10 cm ぐらいから 1 m は優に超えるウミガメを見ることもできました。見学後、バスに乗り、夕陽が大変美しく見える、円月島（この日は雨で夕陽を見ることができませんでした。残念）を車窓から眺め、宿泊地であるホテルに向かいました。



ホテルに到着後は、感染症予防のため、自室から出ることができませんでしたが、各部屋で楽しい時間を過ごしてくれたようです。また、夕食は大変広いホールで、全員が前を向いて、会話をせずに食事をしました。少し違和感がありましたが、今回は感染症対策のために仕方がないことだとみなさんも理解してくれたと思います。



2 日目は雨の中での活動でした。千畳敷・三段壁を見学しました。昨日のジオパークセンターでの学習が役に立ったでしょうか。伊勢にも海がありますが、内海と外海の海岸線の違いや、波の様子、地質の違いによる伊勢とはまた異なる、スケールの大きな景観を堪能



してくれたことだと思います。また、三段壁では、洞窟内に弁財天が祭られており、熊野水軍の伝説もある歴史とロマン、そして、大自然の驚異を感じてくれたことでしょう。



雨が降り続く中、昼食の「とれとれ市場」に向かいました。1 階にはお土産物や新鮮な魚介類がたくさん販売され、2 階の大きな食堂でみんなと食べる最後の昼食をいただきました。



いよいよ最後のアドベンチャーワールドに到着しました。日本で 3 か所にしかないパンダや、日本でも有数のイルカショーなどを見学しました。また、なかなか見ることができない、飼育員やテーマパークで働く方々の仕事ぶりも見せていただきました。



あっという間の 2 日間でした。帰りの車中は疲れた様子で、ゆっくり休みながら暗くなった道中を無事に帰りました。天候に恵まれなかったところもありますが、この 2 日間で、多くのことを学んでくれたと思います。出発前に学習したしおりには「集団生活を通して、社会的マナーを身につける」「友情を深め、仲間を大切にすることを養う」「歴史・文化・自然・食などを通じて、大地と人の暮らしの関わりを実感する」と目的には書かれていました。目的は達成できましたか。それに加えて、私は結団式には「心の残る楽しい思い出をいっぱい作ってください」と話しました。今、修学旅行を終え、みなさんはきっとたくさんの思い出を胸に刻んだと思います。これからは、一緒に過ごした仲間を大切に、一人ひとりが感じたこと、学んだことを実践してください。すばらしい修学旅行をありがとう。みなさんに感謝します。

## ～3年生の保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、さらに各ご家庭でも検温、マスクの着用等、感染症予防対策にご協力いただきありがとうございます。今回の修学旅行に際しましては、日程、旅程等の変更があつたにもかかわらず、ご理解ご協力いただきありがとうございました。無事に修学旅行を終えることができました。感謝申し上げます。